


## 教材・支援機器活用実践事例

【みんなで課題に取り組むことで

人とのかかわり方を学ぶことができる題材の工夫】

子どもについて	学校・学級	小学校 特別支援学級（自閉症・情緒障がい）
	対象の障がい	自閉症スペクトラム（ASD） 注意欠如衝動性障がい（ADHD）
	授業形態	個別学習と異学年児童との小集団学習
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味関心のない学習には、ほとんど参加しようとしなない。</li> <li>特に国語や算数は、低学年からの積み重ねがないので、定着が難しい。</li> <li>感情コントロールが難しく、思い通りにならないと暴言をはいたり、暴力に訴えたりする。</li> <li>可能な範囲で学習に取り組み、できることを増やしていきたい。</li> </ul>
教材・支援機器活用	使用した支援機器・教材の名称	暗号表 ・ 暗号のキーワードカード 
	活用のねらい	子ども達にとって憧れの「校長先生からのメッセージ」をテーマにすることで意欲を引き出すとともに、学級の友達とかかわりながら課題に取り組ませたい。みんなで協力しながら課題に取り組むことをとおして、望ましい人間関係について学ぶと共に、やり遂げたという成功体験をつむことができる。
授業における支援 ・教材の配慮事項		暗号は、クラス全員で協力しなければ解けない内容とし、自分の考えだけでは達成できないようにした。
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>暗号を解くという楽しさと、プリント1枚終わるごとに暗号を解くヒントカードがもらえる嬉しさから、途中であきらめずに最後まで問題を解き続けることができた。</li> <li>日頃、乱暴な言葉のみで他者とかかわっていた本児も、下級生にやさしく言葉をかけたり、困っている子を助けたりすることができた。</li> <li>校長先生からのご褒美として、クラスみんなでクッキーを作って食べることで、やってよかったという満足感を感じる事ができた。また、自分が作ったクッキーを協力学級の児童や母親にプレゼントし、人から感謝される心地よさも経験することができた。</li> </ul>